



吉田 稔 筆

2019年1月 No.128

● 編集・発行  
柏市増尾地域ふるさと協議会  
(土地区社会福祉協議会)

〒277-0033  
柏市増尾三丁目1番1号  
増尾近隣センター内

☎ 04-7174-7211

みんな元気 住んで良かった この地域



大津川にて

写真撮影 巾康友

## あけましておめでとうございます

会長 伊藤 主夫

日頃から、ふるさと協議会の活動に際し、ご協力とご支援をいただき厚くお礼を申し上げます。

今年度は高齢者の通い場事業として「コミュニティのこのこ」が6月にスタートし、多くの参加者が楽しい活動を展開しています。多世代交流コミュニティ「サロンつちのこ」「サロンますのこ」「子育てサロン増尾」「子育てサロン加賀」と、各世代に対応できる通いの場がそろいました。

南海トラフ地震、首都直下型地震は今後30年間で80%

の割合で発生することが予想されています。昨年の集中豪雨による被害などを考えると、防災対策を慎重かつ迅速に講じなければなりません。

また、増尾地域には魅力ある歴史と文化があります。これらを後世に伝え、残す活動にも力を入れていきたいと考えています。

このような活動には、もっと多くの方の力が必要です。委員の増加や若返りを図り、「住みよい地域社会をつくる」というふるさと協議会の目的を推し進めていきます。



# 「地域ふれあいのつどい」「文化祭」 「環境フェア2018パネル展」同時開催

## 地域ふれあいのつどい

11月3日(土)、午前10時には増尾近隣センター前に、この日に開催する「地域ふれあいのつどい」のゲームコーナー目当ての子どもたちの姿がありました。

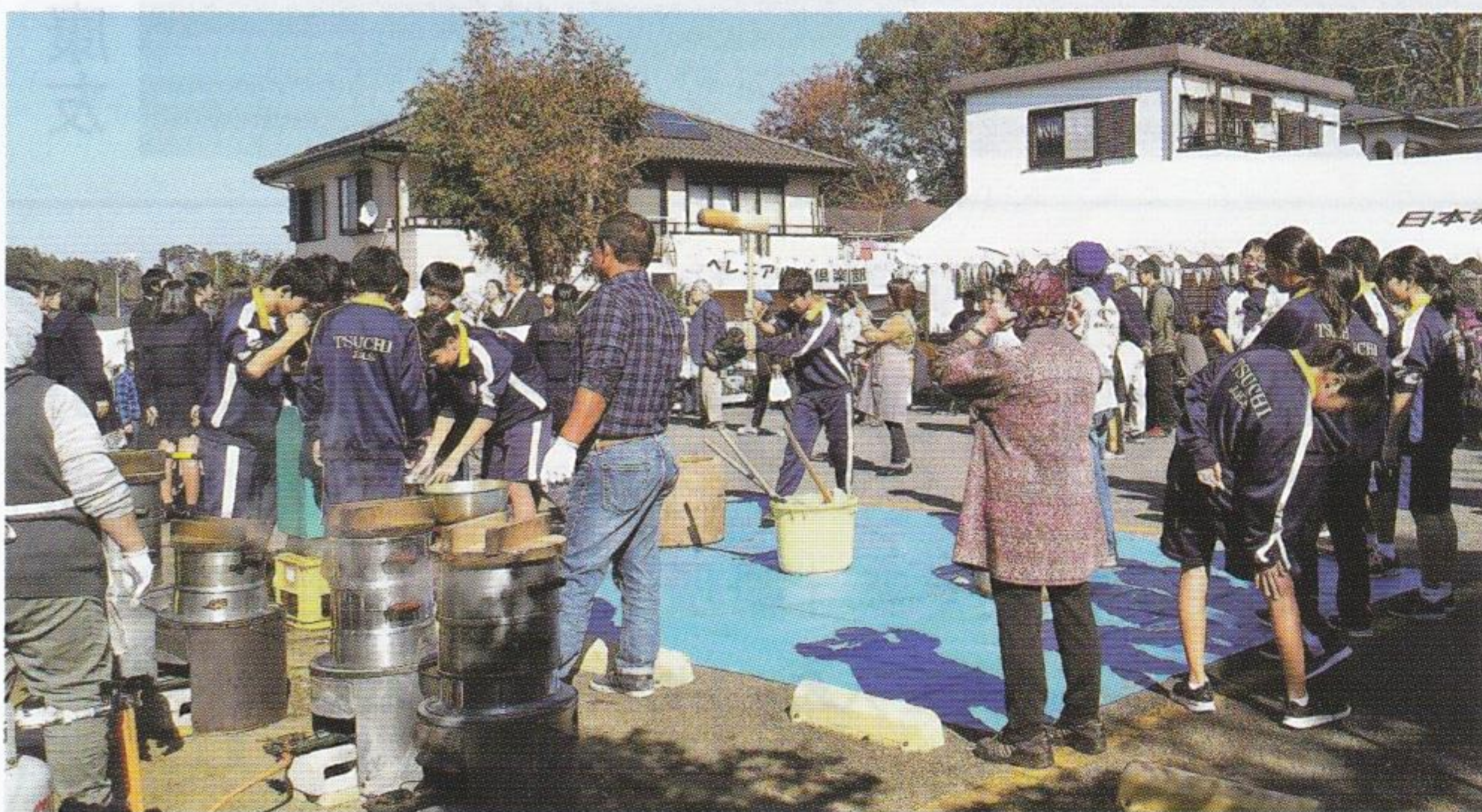
秋晴れのこの日、増尾近隣センター駐車場では、式典後、11時からおもち、おでん、焼きそばなどを模擬店で販売しました。

他にも福祉団体によるバザーや焼きとり、地元生産農家から提供された野菜、「ハッピーサロン」のコーヒー、「サロンつちのこ」の豚汁とおにぎりなどの販売、「ペレニアル花俱樂部」では花の種が無料配布されるなど大変好評でした。

休憩所には並んで購入した品を、頬張り、笑顔で集う人が大勢いました。

今年も土中学校の生徒はもちつきの手伝い、柏南高校合唱部の生徒はアカペラで歌声の披露と、会場を盛り上げていただきました。

また、同時開催の文化祭会場である体育室では、増尾ジェンヌによるハンドトリートメントが行われ、男性の姿もちらほら。この会場で行うハンドトリートメントがすっかり浸透したようです。



土中生徒によるもちつき体験

## 文化祭

11月3日(土)、4日(日)の2日間、増尾近隣センターにおいて、「文化祭」を開催しました。出展者199名による書道、絵画、手芸、工芸、写真、生け花など519点、地域内小中高6校の児童生徒らの131点の作品を展示しました。日頃の成果が見て取れる力作ぞろいの作品でした。見学をする人の中には、興味を持った作品を熱心に見入り、作者に質問をする人も。作者も真剣に答えて話がはずんでいました。

会議室で行われた二つの講座「クリスマスリース」・「動物のお面」づくりには、親子で参加した方もあり仲良く楽しんで作品にしていました。

4日には、柏南高校茶道部5名がお点前を披露したお茶会が開催されました。



まなざしの先には

## ハーバルコロンを楽しむ

平成30年11月22日(木)、増尾近隣センターにおいて「増尾ジェンヌ」を指導していただいているアロマセラピスト舘野久美さんを講師にお呼びして、「アロマ1日講座」を開催しました。参加者20名、スタッフ10名でハーバル(薬草、香草)コロンを作りました。

小さなガラスのびんにかわいいドライハーブを入れたオイルにそれぞれ自分の好みのアロマの香りをプラスしました。部屋中には、たくさんのアロマの素敵な香りが漂っていました。

この冬は、そっと自分の香りを楽しむことができるのではないのでしょうか。 増尾ジェンヌ 増田 きぬ子

## 環境フェア2018パネル展

11月3日(土)、4日(日)の2日間、文化祭と同会場で開催した「環境フェア2018パネル展」では、地球温暖化問題、5月に配布したゴーヤ苗の生育結果のパネルを展示しました。

また、消費生活センターの特殊詐欺注意喚起と地域医療推進課の在宅医療などのパネルも併せて展示しました。



## 敬老のつどいに508名

平成30年9月16日(日)、土中学校体育館において、「敬老のつどい」を開催しました。好天に恵まれ、地域の73歳以上の皆さん508名が参加されました。

華やかな「若城ひかり&夢ジェンヌ 2018」による「三二宝塚ショー」で開演。土中学校吹奏楽部は、CMや昭和歌謡のメドレーを演奏し、タップダンスとの共演には大きな拍手が起こりました。また、昨年度に続き増尾の民話を題材にした音楽詩『鷲山のむじな』を上演。今回は土小学校と増尾西小学校の合同合唱団が加わり、迫力ある舞台となりました。有馬芳枝さん指導のリフレッシュ体操に続いて、柏南高校吹奏楽部は定番の美空ひばりメドレーなどを演奏し、フィナーレは『宝島』でした。



顔なじみの民生委員さんが受付に

## 充実した健康教室

平成30年9月23日(日)、増尾近隣センター体育室において、文化体育部主催「健康教室」を開催しました。

午前はヨガ教室です。講師はベテランの石原由紀子先生。25名の参加者に文化体育部員も加わり、まずはストレッチで身体をほぐしていきます。体育室いっぱいに広がり、自分の身体と相談しながらヨガのポーズをとります。先生の「こんなポーズはできますか」の声に、参加者はすばやく反応し、次に進んでいきます。

この数年男性の参加者も増え、健康への意識が高いと実感しました。

午後は、ウォーキング教室。講師は柏市スポーツ推進委員南部支部の6名の方々です。始めに参加者は二人一組になり、相手の立ち姿をよく観察します。片方の肩が下がっていないか、傾きがないかなど見ながら調整します。いよいよウォーキングの開始。体育室全体を使い、正しい姿勢をキープしてウォーキング。歩幅や速度にも気をつけて歩きました。後半は、ラダーゲッターというニュースポーツを体験しました。ロープでつながれた2個のボールをラダー(はしご)に引っ掛けて点数を競うゲームです。コツがわかると親子三代で楽しめるゲームでした。

文化体育部 小林 みつえ

## 歩いて新発見 ちいき探検ウォーキング

平成30年11月25日(日)、好天の朝冷えの中8時45分、増尾近隣センター前には1日探検隊となった3歳から86歳までの老若男女72名が集合。平成最後の文化体育部主催「ちいき探検ウォーキング」を開催しました。

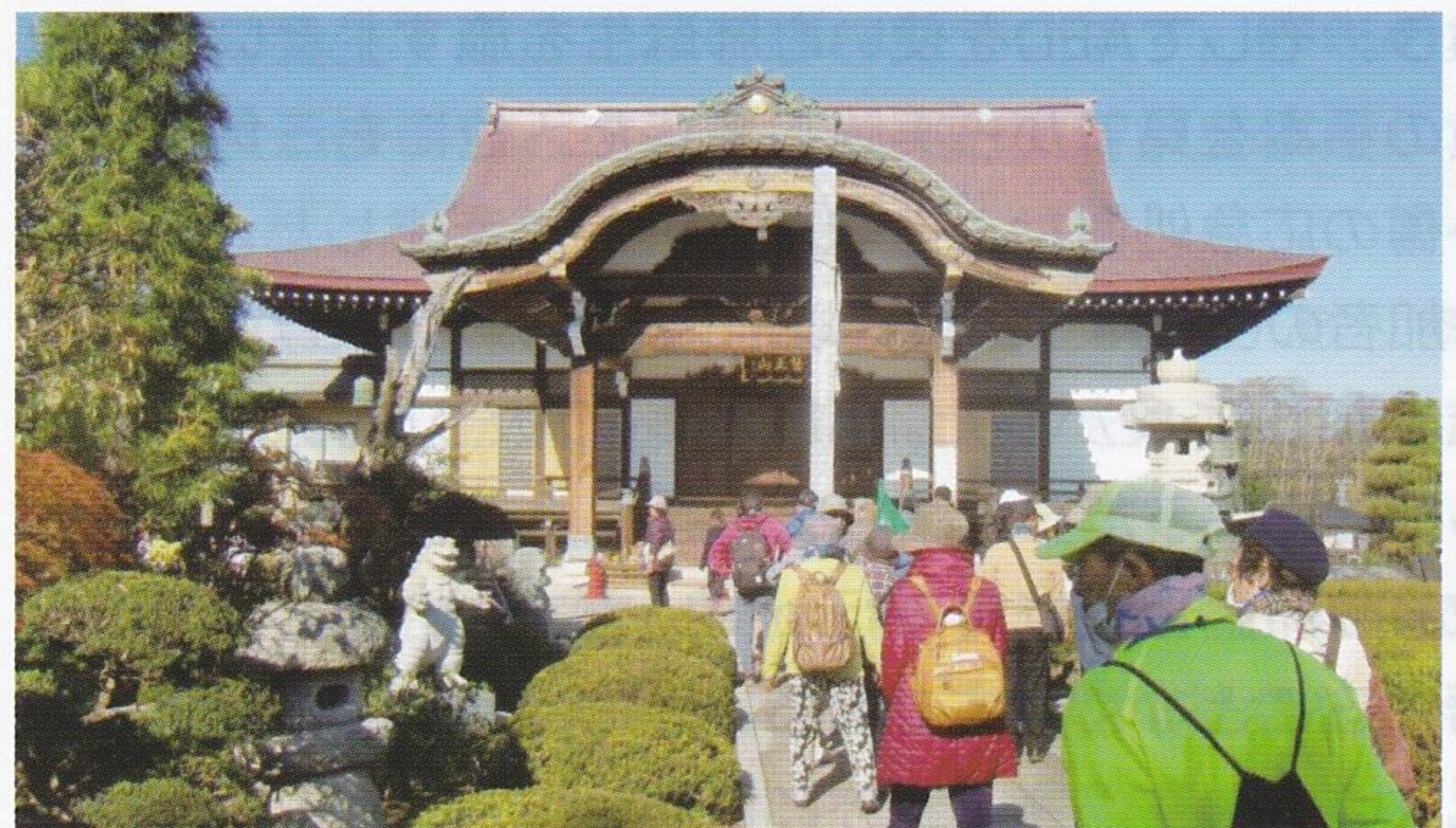
今回は、増尾近隣センター→かしわ森遊会→増尾の里山→四郎兵衛坂(旧道)→増尾城址公園→萬福寺→きつね山→増尾近隣センターを巡るコースでした。

かしわ森遊会が管理する森は空気が澄み樹木の香りが漂い、自然が味わえるようになるとなるべく人が手を加えない森である。増尾の里山では、田畑で作業する16体のかかしが出現。本物かと見間違えるほどの出来映え。四郎兵衛坂は、今ではほとんど利用する人がいないが、昔の往来に思いをはせるとタイムスリップした気持ちになれる不思議な坂。増尾城址公園では、しばし休憩。子ども

たちは園内を走り回ったり、ドングリを拾ったり。萬福寺は本堂の屋根がきれいになってお出迎え。最後はきつね山。楽しみにしていた焼き芋に舌鼓を打つ。ここでは国の有形文化財に登録された萱葺屋根のふき替えを見ることができ、貴重な体験を。この地域に住んでいても意外に知らない歴史や国の有形文化財の存在にビックリそして感激。

この日、半日の行程は約5km、12000歩でした。

文化体育部 高萩 郁勇



萬福寺に到着した一行



# 地域に若い力を 地区懇談会

平成30年11月25日(日)、増尾近隣センター会議室において、「負担なく地域活動に参加できるための工夫を考える」をテーマに「地区懇談会」を開催しました。

土中学校PTA会長足達伸一さん、中原中学校PTA会長麻生宗寛さん、土小学校PTA会長花島和宏さん、増尾西小学校PTA副会長川竹正芳さん、中原小学校PTA書記松井みさとさんをパネラーとして、柏市社協地域支援課1名、柏市南部第2地域包括支援センター1名、地区社協部員21名でパネルディスカッションを行いました。

パネラーからは、役員と委員の確保のための仕事削減と役割分担の工夫などを話していただきました。地域の活動の中でPTA、青少年健全育成推進協議会、ふるさと協議会のそれぞれの役割を明確にし、活動内容を見直すことが必要なのではとの提起もありました。

パネラーによる話の後、4班に分かれてグループ討議を行いました。「若い人はふるさと協議会の存在や活動が分かっていないので、もっとPRが必要」という意見がありました。また、「始めは挨拶から。声かけを続け仲間を作っていく」と各班から共通の意見があり、今後に向けて少し光が見えた懇談会になりました。

地区社協部 新坂 はる枝

# 勇気を持つため再受講 救急救命講習会

平成30年10月27日(土)、増尾近隣センター体育室にて東部消防署救急隊の方々を講師に迎え、防犯防災部主催「救急救命講習会」を行いました。今回は「自分でできる応急手当と一次救命処置」をテーマに実施。中学生3名を含む14名の参加者は、「人工呼吸をしながら、大きな声を出して周りの人に指示を出し、AEDを持ってきてもらう。そしてAEDを使い心肺蘇生を施す」という救急隊員の手本を見てから実践しました。他にも三角巾を使う外傷の応急処置などを教えていただきました。

参加者の一人は「講習を以前にも受けたことがあるが、また参加して良かった。AEDを取り扱う時の“勇気”が少し持てたようだ」と感想を。

救急救命講習会は毎年行っています。いざという時に躊躇することなく対応できるように、何回でも受講してください。

防犯防災部 間宮 節子

## 柏南高校避難所で災害訓練

### 柏南高校避難所運営委員会

平成30年10月14日(日)、柏南高校で避難所運営委員会主催の災害訓練を実施しました。

柏南高校避難所運営委員会は、新柏三丁目自治会、新柏二丁目第一自治会、第一住宅増尾団地自治会の3自治会で構成され、平成27年度より毎年度訓練を行っております。今回の参加者は、住民377名、講師など関係者24名の総勢401名でした。

昨年度は「避難所施設の見学」をテーマにし、体育館の各自治会の居住区配分と個人のスペースの確認、避難所生活に必要な救護室、相談室、授乳室、更衣室、男女別物干し場、ペット避難場所を確認しました。

今年度は「大規模災害時の医療について」をテーマに、柏市防災安全課より市の体制、柏市医師会から医師会の取り組み、柏市消防局からは災害現場のトリアージの必要性、柏市南部第2地域包括支援センターからは高齢者の注意点などの講話を聞くことができました。

災害医療について、柏市と柏市医師会の住民への講話は柏市で初めての試みであり、災害医療に対する理解およびそれによる安心感を得る良い機会となりました。また、この訓練の実施には柏南高校校長、副校長(避難所施設長)、教諭と柏市地域支援課のご支援をいただきました。

運営委員会では、避難所開設・運営マニュアル小委員会を立ち上げ、より実践に近い形でマニュアルに沿った訓練が行えるよう体制を整えています。今後も運営委員会と地域住民が一体となり、もしもの時に備えた訓練を実施していきたいと思っております。

柏南高校避難所運営委員会委員長 志水 房夫

## ふるさと協議会からのお知らせ

平成31年1月27日(日) 新春囲碁将棋大会

平成31年3月3日(日) 芸能発表大会

※詳細は回覧、チラシなどでお知らせします。

### ボランティア募集中

障がい者福祉施設で、毎月第2・第4金曜日、午前9時30分から12時まで、簡単な作業(園芸、手芸他)のお手伝いをしてくださる方を募集中。

地区社協部 田嶋(TEL 7172-4683)まで、お問い合わせください。